



## 2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月7日

上場会社名 ミツ星ベルト株式会社  
 コード番号 5192 URL <https://www.mitsuboshi.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 垣内 一  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 辻 政嗣  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 078-685-5630

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	14,390	23.1	1,060	53.7	1,209	47.3	914	42.8
2020年3月期第1四半期	18,705	1.6	2,291	5.9	2,294	21.4	1,600	20.2

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 1,771百万円 (63.8%) 2020年3月期第1四半期 1,081百万円 (48.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	31.45	
2020年3月期第1四半期	52.89	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	101,340	72,939	72.0
2020年3月期	101,154	71,953	71.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 72,939百万円 2020年3月期 71,953百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		27.00		27.00	54.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		27.00		27.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	30,000	19.4	1,500	65.9	1,500	65.4	1,400	54.4	48.15
通期	61,000	14.1	3,200	56.2	3,400	55.6	2,800	48.8	96.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細については、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期1Q	32,604,198 株	2020年3月期	32,604,198 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2021年3月期1Q	3,527,143 株	2020年3月期	3,527,018 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期1Q	29,077,097 株	2020年3月期1Q	30,254,809 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により経済活動は急速に停滞感を強め、景気は大幅に低下しました。各国政府による緊急対策として、外出禁止令や移動制限、企業の操業停止など感染拡大の防止対策が行われ、その後、感染拡大規模が縮小するとともに緩やかな回復の兆しが見られたものの、依然として先行きは不透明な状況が続いています。

米国・欧州・アジア各地域において個人消費や企業業績の悪化により景気は急激に低下し、中国においては、いち早く経済活動が再開されたものの、全体として大幅に悪化しました。我が国経済においても、緊急事態宣言などの影響により経済活動は低下し、世界経済の景気悪化による輸出入の減少とこれらの取引に関わる企業の業績も縮小するなど、全体として景気は大幅に後退しました。

このような環境のもと、当社グループは感染拡大防止対策に注力するとともに、従業員の身の安全と雇用が維持できるよう努める一方、売上高と利益の確保も最大限図れるよう活動しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高14,390百万円（前年同期比23.1%減）、営業利益1,060百万円（前年同期比53.7%減）、経常利益1,209百万円（前年同期比47.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は914百万円（前年同期比42.8%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## 〔国内ベルト事業〕

自動車用ベルトは、新型コロナウイルス感染拡大の影響によりユーザーの工場が稼働停止したことや輸出需要が減少したことから売上高が減少しました。一般産業用ベルトは、サプライチェーンの停滞により国内企業の生産活動が大きく落ち込んだ影響を受けました。また搬送ベルトや合成樹脂素材についても同様に売上高が減少いたしました。

その結果、当事業の売上高は5,896百万円（前年同期比15.5%減）、営業利益は1,219百万円（前年同期比31.1%減）となりました。

## 〔海外ベルト事業〕

自動車用ベルトは、各国が実施したロックダウンの影響により自動車メーカーの稼働が停止し生産台数が大きく減少したことから、欧米・アジアいずれの地域でも売上高が減少しました。

一般産業用ベルトは、中国国内では経済活動の再開による需要の増加がみられましたが、その他の地域においては売上高が減少し、OA機器用ベルトも同様に減少しました。

その結果、当事業の売上高は5,772百万円（前年同期比33.3%減）、営業利益は455百万円（前年同期比57.8%減）となりました。

## 〔建設資材事業〕

建築部門は工事物件の中止や延期の影響を受け、土木部門は大工工事物件が減少したことから売上高が減少しました。

その結果、当事業の売上高は1,623百万円（前年同期比16.3%減）、営業利益は109百万円（前年同期比60.4%増）となりました。

## 〔その他〕

その他には、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、金属ナノ粒子を応用した新製品、仕入商品等が含まれております。

その他の売上高は1,097百万円（前年同期比2.5%減）、営業損失は74百万円（前年同期は営業利益22百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末は、流動資産が267百万円減少したものの、固定資産が452百万円増加したことから、総資産は前連結会計年度末比186百万円増加の101,340百万円となりました。

負債は、流動負債が753百万円、固定負債が47百万円とそれぞれ減少したことから、前連結会計年度末比801百万円減少の28,400百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が129百万円、その他の包括利益累計額が857百万円とそれぞれ増加した結果、前連結会計年度末比986百万円増加の72,939百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の71.1%から72.0%に上昇しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染拡大規模と経済への影響は、国内・海外問わず先行きが見通せない状況が続く一方で、各国の政治情勢による通商問題も依然として不安視されるなど、世界情勢の不透明感は一層強くなるものと考えられます。

2021年3月期の業績予想につきましては、当社の業績に与える新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて、現時点で入手可能な情報をもとに算定いたしました。詳細につきましては、本日公表しました「2021年3月期連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	31,360	31,903
受取手形及び売掛金	14,687	13,336
商品及び製品	12,983	13,135
仕掛品	2,099	1,951
原材料及び貯蔵品	3,128	3,657
その他	1,021	1,021
貸倒引当金	△110	△102
流動資産合計	65,170	64,903
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,495	6,415
機械装置及び運搬具(純額)	8,450	8,626
工具、器具及び備品(純額)	2,094	2,102
土地	3,930	3,938
リース資産(純額)	1,318	1,378
建設仮勘定	954	802
有形固定資産合計	23,244	23,262
無形固定資産	1,396	1,344
投資その他の資産		
投資有価証券	10,040	10,593
その他	1,321	1,254
貸倒引当金	△18	△18
投資その他の資産合計	11,344	11,829
固定資産合計	35,984	36,436
資産合計	101,154	101,340

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,103	8,169
短期借入金	4,524	4,324
未払法人税等	652	243
賞与引当金	837	1,400
その他	4,708	4,935
流動負債合計	19,826	19,073
固定負債		
長期借入金	2,700	2,475
退職給付に係る負債	1,581	1,683
役員退職慰労引当金	22	23
その他	5,070	5,145
固定負債合計	9,374	9,327
負債合計	29,201	28,400
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,150	8,150
資本剰余金	2,111	2,111
利益剰余金	63,272	63,401
自己株式	△5,788	△5,788
株主資本合計	67,745	67,874
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,669	6,052
為替換算調整勘定	△1,294	△829
退職給付に係る調整累計額	△166	△158
その他の包括利益累計額合計	4,207	5,064
純資産合計	71,953	72,939
負債純資産合計	101,154	101,340

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	18,705	14,390
売上原価	12,903	10,042
売上総利益	5,801	4,347
販売費及び一般管理費	3,509	3,287
営業利益	2,291	1,060
営業外収益		
受取利息	60	29
受取配当金	200	198
その他	93	155
営業外収益合計	354	383
営業外費用		
支払利息	20	11
為替差損	293	114
その他	37	108
営業外費用合計	352	234
経常利益	2,294	1,209
税金等調整前四半期純利益	2,294	1,209
法人税等	694	294
四半期純利益	1,600	914
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,600	914



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	1,600	914
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	116	382
為替換算調整勘定	△634	465
退職給付に係る調整額	△0	8
その他の包括利益合計	△518	857
四半期包括利益	1,081	1,771
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,081	1,771
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

## I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	国内 ベルト	海外 ベルト	建設資材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,979	8,659	1,940	17,579	1,126	18,705	—	18,705
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,354	530	—	2,884	573	3,458	△3,458	—
計	9,333	9,189	1,940	20,463	1,700	22,163	△3,458	18,705
セグメント利益	1,769	1,079	68	2,917	22	2,940	△648	2,291

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備機械、他社仕入商品、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△648百万円には、セグメント間取引消去108百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△756百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	国内 ベルト	海外 ベルト	建設資材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	5,896	5,772	1,623	13,292	1,097	14,390	—	14,390
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,897	503	—	2,400	205	2,606	△2,606	—
計	7,793	6,275	1,623	15,693	1,303	16,996	△2,606	14,390
セグメント利益又は損失(△)	1,219	455	109	1,784	△74	1,709	△649	1,060

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備機械、他社仕入商品、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△649百万円には、セグメント間取引消去166百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△816百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。